

研究課題	秋冬期における一、二年生草花の展示栽培（カンパニュラ）
背景・ねらい	新潟市では晩秋から早春にかけて出荷できる切花品目が少ないため、秋冬期における無加温ハウスで栽培が可能な品目・作型等を検討し、切花出荷期の拡大を図る。
担当者	山口 次郎, 渡辺 智之, 船木 武人, 渡邊 一彦
研究期間	2020～（1年目）

## 1 目的

秋冬期に無加温ハウスで栽培が可能であり、市場での需要が高い品目を展示栽培し、当該期に球根以外で種苗費が安く換金可能な草花類（秋播き二年草）の新品目導入のための資料とすることを目的とする。

## 2 方法

### (1) 供試品目：カンパニュラ（4品種、図1）

チャイムシリーズ（メジューム系）：ホワイト，スカイブルー，ライトピンク

涼姫（ラパンクルス系）

<サカタ>

### (2) 試験区の構成・規模

各品種各 180 株（90 株×2 反復）

※涼姫のみ 144 株（72 株×2 反復）

### (3) 耕種概要

ア 試験圃場：鉄骨ハウス 4

イ 播種：7月17日（ピート板に播種し、発芽したものをセルに移植。）

ウ 定植：8月20日

エ 栽植様式：畝幅 80 cm，条間 12 cm，株間 12 cm，6 条植え

オ 施肥：基肥（kg/10 a）N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O= 10-10-10

追肥 生育の状況を見ながら適宜施用。

カ 電照：定植直後より日長延長（日没後～PM10:00）

キ 保温：11月上旬から保温開始（二重カーテンにて）

ク 摘芯：なし

### (4) 調査項目

採花日，採花本数，切花長，莖径，節数，切花重，花蕾数

※年内採花を想定しているため，12月21日で調査終了

## 3 結果の概要

(1) 発芽はチャイムシリーズで極めて良好であった。涼姫はやや発芽が悪かったものの問題はない程度であった。

(2) チャイムシリーズについて（図2）

平均採花日はホワイトが最も早く10月6日，次いでスカイブルーが10月13日，ライトピンクが10月24日となった。切花長は逆にライトピンクが最も長い68.3 cmで，次いでスカイブルーが60.5 cm，ホワイトが49.8 cmとなり，花蕾数などのボリューム面でも同様の順番となった。採花率は全品種で90%以上と高い値を示した。

(3) 涼姫（図3）

採花は主枝と側枝に分けて行い，3割程度が開花した枝を切り前とした。

平均採花日は11月17日と，チャイムシリーズより一か月程度遅くなった（表1）。

切花長は76.5 cm，花蕾数は13.8個となりボリューム的に問題はなく，株あたりの採花本数も5.5本となった（表1）。

保温のためにハウスを締め切るようになると，灰色カビ病の発生がみられた。

## 4 まとめ

本試験では，本来秋播きで春咲きのカンパニュラを夏播き秋冬咲きの作型で栽培した。

厳暑期の播種・定植栽培であるため、育苗時の遮光、定植後のミスト散布などの処理を行った。  
チャイムシリーズは生育面や切花品質、採花率のいずれでも問題は見られず、本作型に適した  
品種であると考えられる。

涼姫は、栽培後半で灰色カビ病の発生がみられたが株当たり 5 本以上の採花が可能であった。  
植栽は本試験程度が適当と思われた。



図1 ①チャイムライトピンク，②涼姫

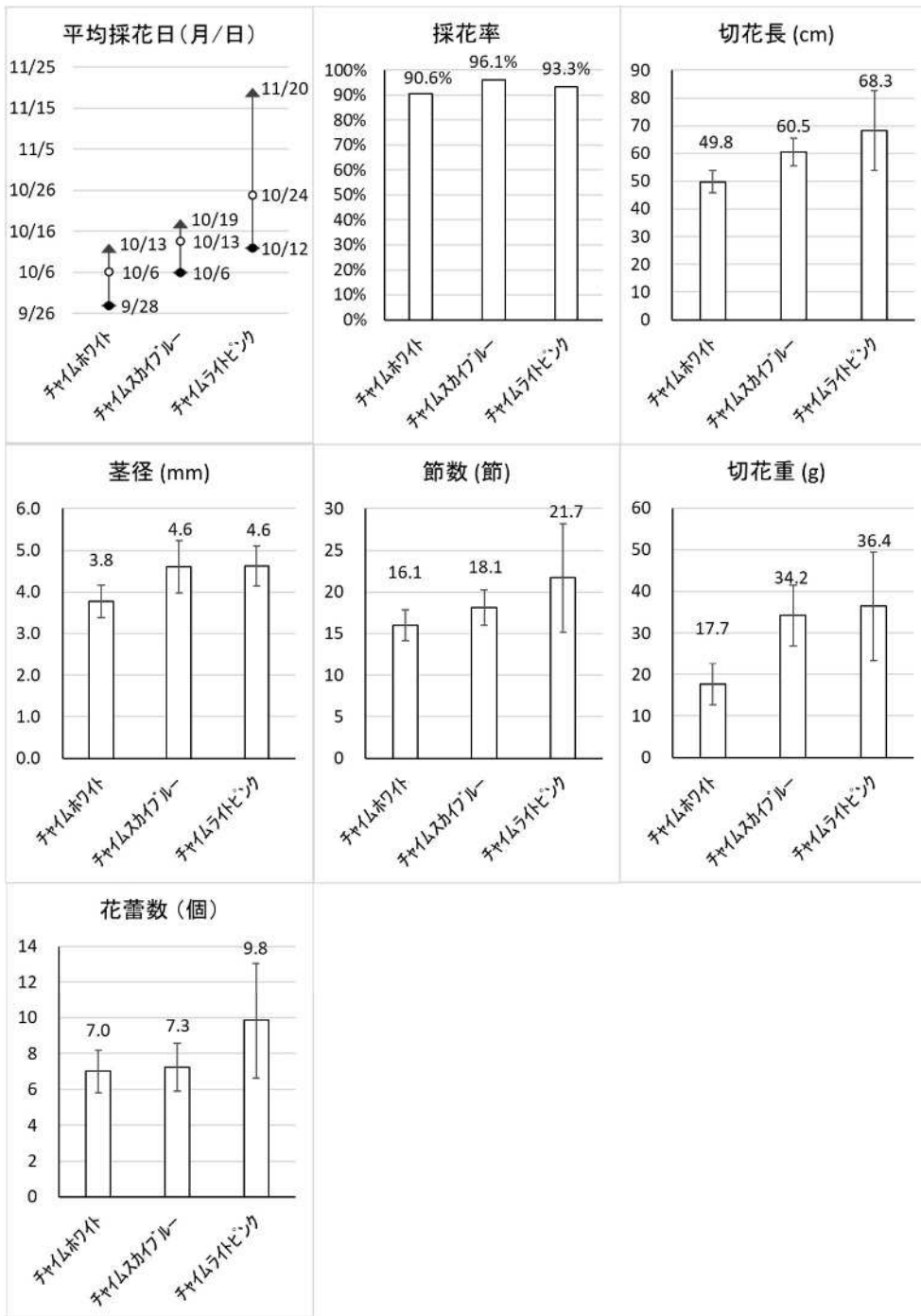


図2 カンパニュラ (チャイムシリーズ) 切花結果 (切花長, 茎径, 節数, 切花重, 花蕾数 : n = 10)

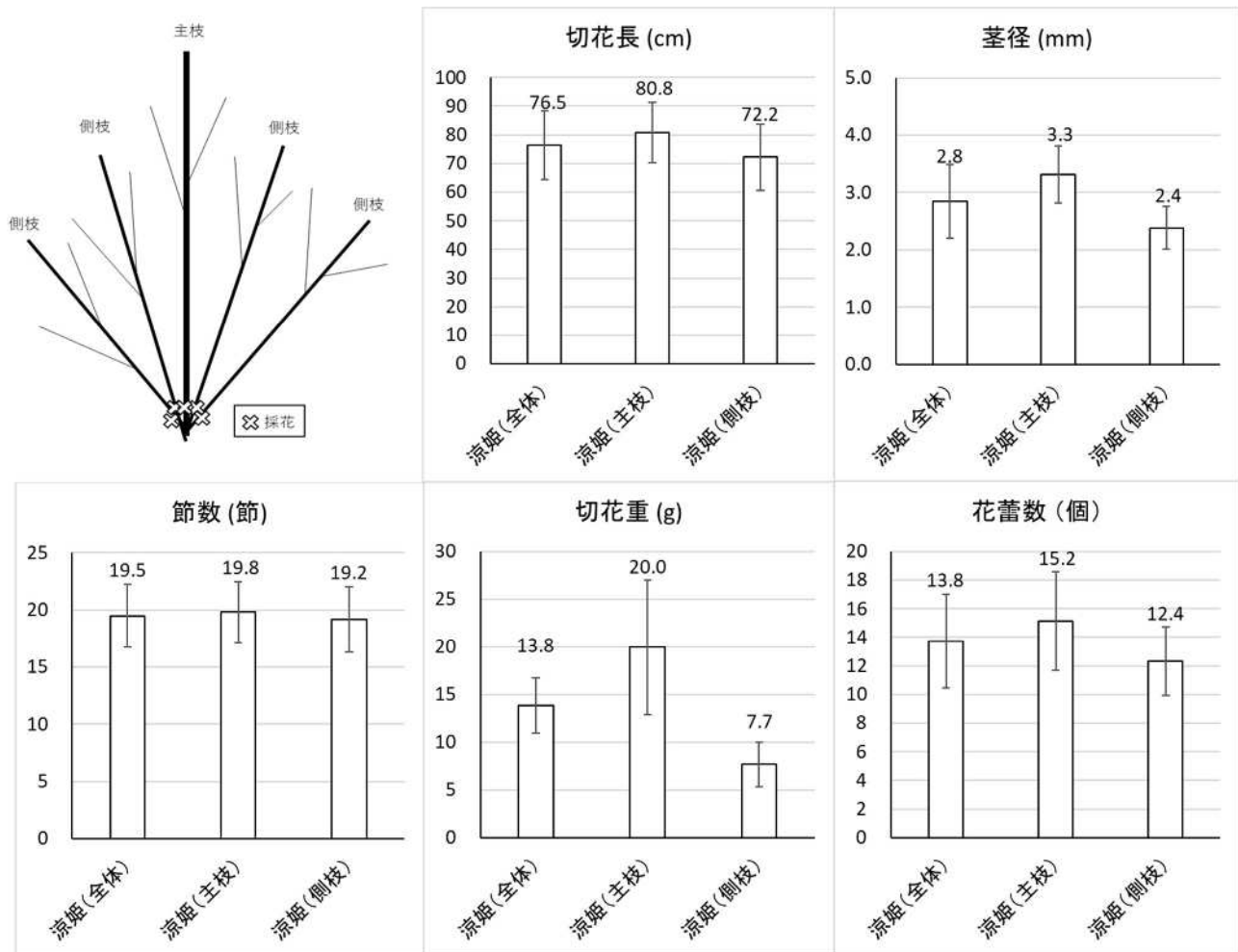


図3 カンパニュラ（涼姫）切花結果（切花長，茎径，節数，切花重，花蕾数：n = 10）

表1 カンパニュラ（涼姫）切花結果

	平均採花日 (月/日)	開始日 (月/日)	終了日 (月/日)	到花日数 (日)	株あたり 採花本数 (本)
涼姫（全体）	11/17	10/22	12/11	123.0	5.5